

丹沢ボラネット瓦版

2022年7月号 No.112



↑写真(R4年5月3日)

丹沢山天王寺尾根の
ブナ林風景と丹沢
三峰(みつみね)の風景
左から

太礼ノ頭 (西峰)

(たれいのあたま)

円山木ノ頭(中峰)

(えんざんぎのあたま)

本間ノ頭(東峰)

(ほんまのあたま)

→写真 シカの群れ
秦野市東田原の里地
に現れた人慣れたシカ



令和4年度丹沢大山ボランティアネットワーク総会

令和4年度総会は新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、令和2年度、3年度に引き続き書面とメールでの開催となりました。瓦版には、この貴重な書面総会を記録に残すため重要資料等を載せます。

この新型コロナ感染症危機禍における令和4年度のボラネット活動の様子が、県民にも次世代にも伝われば幸いです。

1 日時・場所

新型コロナウイルス感染症をめぐる社会情勢を踏まえ、書面にて開催

- ・令和4年4月5日 総会へ向けて会計監査及び臨時世話人会 AM11:00～
- ・令和4年4月13日 各団体に資料送付
- ・令和4年4月23日各議案への賛否回答締め切り
- ・令和4年4月29日各団体に結果報告

2 議題

- (1) 令和3年度事業報告・決算報告（資料1.2）
- (2) 令和4年度事業計画・予算(案)（資料3.4）
- (3) 世話人会の改選（資料5）
- (4) 令和4年度会費の扱いについて（資料6）
- (5) 令和3年度 丹沢の緑を育む集い実行委員会報告
- (6) その他



←写真

総会へ向けての臨時世話人会

内 容

- ・丹沢講演会や水質調査等について協議した。
- ・同日にR3年度の監査実施

総会資料

資料 1

令和 3 年度事業報告

1 総会

実施日 令和 3 年 4 月 18 日（日）

※ 新型コロナウイルス感染症を巡る社会情勢を踏まえ書面開催

出席者 17 団体

内 容 通常総会

2 世話人会

(1) 第 1 回

実施日 令和 3 年 6 月 2 日（水）

方 法 電子文書とメール交換による書面開催

出席者 7 名

内 容 ① 年間世話人会日程等計画
② 丹沢ボラネット瓦版
③ 次年度以降のボラネット活動に向けての提言
④ その他

(2) 第 2 回

実施日 令和 3 年 9 月 1 日（水）

方 法 電子文書とメール交換による書面開催

出席者 7 人

内 容 ① 外来種調査について
② 登山環境意識調査について
③ 水質調査協力団体について
④ 丹沢ボラネット瓦版（111 号）について
⑤ その他

(3) 第 3 回

実施日 令和 3 年 12 月 1 日（水）

方 法 電子文書とメール交換による書面開催

出席者 7 名

内 容 ① 世話人会の改選について
② 水質調査協力団体について
③ 令和 4 年度の行事予定について
④ 今後のボラネット事業のあり方について
⑤ ボラネット瓦版のとりまとめについて

(4) 第 4 回

実施日 令和 4 年 3 月 2 日（水）

方 法 電子文書とメール交換による書面開催

内 容 ① 令和 4 年度丹沢大山ボランティアネットワーク総会に向けて
② その他

3 広報

- (1) 瓦版の発行
110号(2021年7月号) 111号(2022年2月号)
- (2) 活動報告書の作成
令和3年3月発行
- (3) ホームページの更新

4 活動報告

- (1) 水質調査
新型コロナウイルス感染症を巡る社会情勢を踏まえ中止
- (2) 講演会
新型コロナウイルス感染症を巡る社会情勢を踏まえ中止
- (3) 外来種調査・交流会
新型コロナウイルス感染症を巡る社会情勢を踏まえ中止

5 関係会議等への出席

- (1) 丹沢の緑を育む集い実行委員会総会
日 時 令和3年7月9日(金)
方 法 書面開催
内 容 第1号議案 令和2年度事業報告について
第2号議案 令和2年度決算報告について
第3号議案 令和3年度事業計画について
第4号議案 令和3年度予算について
第5号議案 丹沢の緑を育む集い実行委員会ボランティア団体
活動助成事業に関する実施要領一部改正について
- (2) 丹沢大山自然再生委員会関係
 - ア 丹沢大山自然再生委員会 第34回幹事会
開催日 令和3年5月17日(月)
方 法 書面とオンライン会議
内 容 ① 第22回丹沢大山自然再生委員会総会の資料について
② 再生委員会への入会審査状況について
③ (公財)森林文化協会の月刊誌「グリーン・パワー」からの執筆
依頼について
④ その他
 - イ 丹沢大山自然再生委員会 令和3年度総会
開催日 令和3年6月25日(金)
方 法 書面とオンライン会議

丹沢大山ボランティアネットワーク
令和3年度（2021年度）決算報告

令和4年4月1日
ボラネット会計・黒坂博

1. 収入の部

項目	予算	決算	予実差	備考
会費	64,000	54,000	-10,000	26団体 未納4団体 作年度分1団体
助成金	330,000	0	-330,000	登山者意識調査
参加費	60,000	0	-60,000	行事中止のため
繰越金	50,222	50,222	0	
合計	504,222	104,222	-400,000	

2. 支出の部

項目	予算	決算	予実差	備考
水質調査	260,000	0	-260,000	行事中止
登山者意識調査	0	0	0	
夏休み親子自然探検隊	0	0	0	行事中止
外来種駆除活動	70,000	0	-70,000	行事中止
講演会	0	0	0	行事中止
世話人会	53,000	0	-53,000	書面にて
丹沢大山自然再生委員会会費	10,220	10,660	440	
予備費	47,002	6,400	-40602	会計監査交通費（作年度交通費、監査2名、会計、代表）
合計	440,222	17,060	-423162	

3. 収支

収入総額	支出総額	残高
104,222	17,060	87,162

令和3年度丹沢大山ボランティアネットワークの会計を監査しました。適正に執行されているものと認めます。

会計監査 遠藤 順一
会計監査 森島 真知子

丹沢案内

表丹沢の見落としがちな伝説場所案内
菩提峠の二ノ塔側（30分）にある。

→写真

日本武尊足跡入り口案内



令和 4 年度事業計画（案）

1 総会

実施日 令和 4 年 4 月 23 日（土）

※ 新型コロナウイルス感染症を巡る社会情勢を踏まえ書面開催

内 容 令和 3 年度事業・決算報告及び令和 4 年度事業計画・予算案 他

2 世話人会

実施日 年 4 回（6、9、12、3 月）

※ 新型コロナウイルス感染症拡大状況に応じ書面開催も検討

場 所 神奈川県自然環境保全センター（ワーキングルーム）

出席者 世話人及び自然環境保全センター自然保護課職員

内 容 事業の企画運営ほか

3 活動事業

（1）水質調査

実施日 令和 4 年 5 月～6 月

場 所 丹沢大山地域 水場 22 箇所

内 容 大腸菌等 10 項目の水質検査

（2）講演会

（調整中）

新型コロナウイルス感染症拡大状況等を踏まえ、実施の可否等について判断

（3）外来種調査

実施日 令和 4 年 10 月（調整中：候補日 10 月 30 日）

場 所 神奈川県自然環境保全センター自然観察園

内 容 池の外来種調査

（4）その他

夏休み親子自然探検隊（8 月頃）の後援

※ 新型コロナウイルス感染症を巡る社会情勢等により、活動事業は中止の可能性があります。

4 広報

（1）瓦版の発行

（2）活動報告書の作成

（3）ホームページの更新

5 関係会議等への出席

（1）緑を育む集い実行委員会

（2）丹沢大山自然再生委員会

令和4年度予算（案）

資料4

1 収入の部

科 目	予算 (A)	前年度予算額 (B)	比 較 (A-B)	備考
会費	0	60,000	▲ 60,000	世話人会の運営、丹沢大山自然再生委員会 会費には繰越金を充てる。
助成金	380,000	330,000	50,000	丹沢の緑を育む集い実行委員会 水質調査等
繰越金	87,162	50,222	36,940	
合計	467,162	440,222	26,940	

2 支出の部

科 目	予算 (A)	前年度予算額 (B)	比 較 (A-B)	備考
水質調査	260,000	260,000	0	交通費補助、採水ビン送料、検定料等
登山者意識調査	0	0	0	次回の登山者意識調査は令和6年度に実施 予定（5年ごと）
外来種駆除活動	70,000	70,000	0	講師謝礼、資料代、諸器具・消耗品費等
講演会	50,000	50,000	0	講師謝金等
世話人会運営 費	53,000	53,000	0	交通費補助、通信費等
丹沢大山自然 再生委員会会 費	10,660	10,220	440	会費、振込手数料等
予備費	23,502	47,002	▲ 23,500	
合計	467,162	440,222	▲ 23,060	



丹沢案内

←写真

日本武尊足跡

足跡には日照りの時に水を噴き
出したが、今でもいつ見学し
ても、水が溜まっている。

令和 4 年度会費の扱いについて（案）

1 現状

例年、参加団体から徴収した会費は、世話人会の運営及び丹沢大山自然再生委員会会費等に充てているが、令和 2 年度及び令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、世話人会を書面で実施するとともに、各種事業等のほとんどが中止となり、連絡・調整に係る費用等が発生しなかったことから、大幅な余剰が生じている。

	会費収入	世話人会、丹沢大山自然 再生委員会会費等支出	執行残額
令和 2 年度	52,000円	11,210円	40,790円
令和 3 年度	54,000円	17,060円	36,940円
合 計	106,000円	28,270円	77,730円

※ 水質調査、講演会、外来種駆除活動等の各種事業に係る直接的な費用については、例年、丹沢の緑を育む集い実行委員会による助成金を活用

2 対応案

令和 4 年度の世話人会の運営等に係る費用は、令和 3 年度末の繰越金から支出することとし、令和 4 年度は会費徴収を行わないこととする。

↓写真 三ノ塔休憩所内の様子,富士山に見える風景

休憩所日誌 三ノ塔



令和４年度丹沢大山ボランティアネットワーク総会結果

1 日時・場所

新型コロナウイルス感染症をめぐる社会情勢を踏まえ、書面にて開催

- ・ 令和４年４月13日各団体に資料送付
- ・ 令和４年４月23日各議案への賛否回答締め切り

2 出席者

回答15団体、未回答12団体

3 各議案の承認状況

すべての議案について、出席者（回答者）の過半数の賛成により、承認された。

（丹沢大山ボランティアネットワーク会則第7条第3項）

議案１：令和３年度事業報告・決算報告

資料１．２のとおり承認（賛成14、反対0、回答なし1）

議案２：令和４年度事業計画・予算（案）

資料３．４のとおり承認（賛成14、反対0、回答なし1）

議案３：世話人の改選

資料５のとおり承認（賛成14、反対0、回答なし1）

議案４：令和４年度会費の扱いについて

資料６のとおり承認（賛成14、反対0、回答名なし1）

4 その他（意見等）

- ・ できるだけ早くみんなで集えるように出きることで努力します。

令和4年度丹沢大山ボランティアネットワーク世話人会

	氏 名	団 体 名	任期
代 表	小林 昭五	NPO法人丹沢自然学校	令和4.4～令和6.3
副代表	小野 均	NPO法人四十八瀬川自然村	令和4.4～令和6.3
副代表	山口 寿則	NPO法人伊勢原森林里山研究会	令和3.4～令和5.3
会 計	遠藤 順一	NPO法人野生動物救護の会	令和3.4～令和5.3
監 事	森島 眞知子	町田グlaus山の会	令和3.4～令和5.3
監 事	栗林 弘樹	丹沢ゴミ調査会	令和4.4～令和6.3



↑写真 世話人会

丹沢大山ボラネット加盟団体からの投稿

令和 3 年度の活動紹介と今後の活動予定

NPO 法人野生動物救護の会 遠藤 順一

私が所属している NPO 法人野生動物救護の会は、神奈川県自然環境保全センターの傷病鳥獣保護事業に係るボランティア活動を行う一方で、丹沢・大山の自然環境とそこに生息している野生鳥獣について観察・調査を実施しています。令和 3 年度は丹沢の緑を育む集い実行委員会からボランティア団体活動助成金をいただき、自動撮影カメラ 1 台とペーハー計測器 1 台を購入することができました。

神奈川県自然環境保全センターの野外施設における野生鳥獣の生息調査は、2017 年度の中頃から動物の足跡や食痕などを探してスマホで撮影したり地図に記録をつけたりする活動からスタートしました。その後、平成 30 年度に丹沢の緑を育む集い実行委員会のボランティア団体活動助成金を使い 2 台の自動撮影カメラを購入することができ、足跡や食痕だけでは判別が難しかった野生鳥獣の種類や頭数（羽数）も調べられるようになりました。

令和 3 年度は 4 台の自動撮影カメラを設置して調査を行いました。表 1 は哺乳類についての令和 3 年度の調査結果と平成 30 年度の調査結果をまとめました。

種数は兩年度の間に大きな違いはありませんが、ノウサギのように全く映らなくなった種やタヌキのように撮影回数が減少している種もあります。ハクビシンは撮影回数が大きく増えていて、原因はカメラの台数が 2 倍になったことだけではないのかもしれませんが。

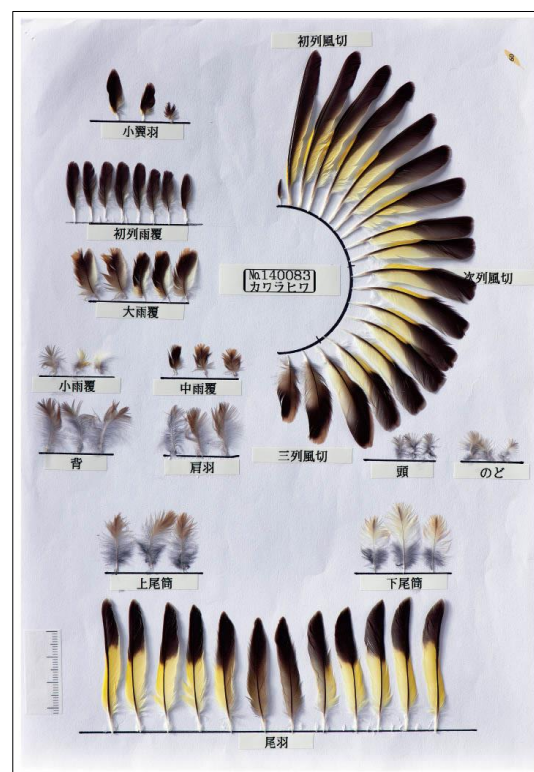
令和 4 年度は引き続き傷病鳥獣保護のボランティア活動と野生動物の観察・調査に注力したいと思います。また今年度は 8 月 20 日に神奈川県自然環境保全センターで行われる自然発見クラブにおいて「野鳥の羽根標本づくり」という講座をやらせていただくことになりました。羽根標本を作りながら傷病野鳥のこととお話をしたいと思いますので興味をお持ちの方は是非ご参加ください。

神奈川県自然環境保全センターのホームページから神奈川電子申請システムによりお申し込みください（8 月 6 日まで）。

表1 撮影回数の比較

哺乳類	撮影回数	
	平成30年度	令和3年度
イヌ	1	0
ネコ	2	5
タヌキ	198	97
ハクビシン	46	203
アナグマ	12	29
イタチ	45	72
テン	2	13
アライグマ	11	24
イノシシ	110	132
シカ	153	136
ニホンザル	31	21
ノウサギ	25	0
ニホンリス	14	15
ネズミ科	132	280
翼手目	10	1

図1 カワラヒワの羽根標本



水質調査（採水）の様子のご報告

NPO法人丹沢自然学校 小林 昭五

令和4年度の水質調査無事に終わる。調査日 5月15日（日）

毎年の恒例となっていました水質調査は、昨年、一昨年と新型コロナ禍のため残念ながら実施が出来ませんでした。

今年度は世話人会で協議した結果、なんとか実施することになりました。いろいろと協力をして頂いた関係の皆様ありがとうございます。

→写真

西丹沢県民の森入り口



私ども丹沢自然学校は
地点 16 西丹沢県民の森

17 仲ノ沢法面湧水
を担当しました。

実行にあたって
ボランティア協力者を募り
採水活動を行いました。

2 年間のブランクがあり、
また雨天の日が多く続いた
ため採水には困難が伴い
ました。



↑写真 丹沢県民の森「水道蛇口2栓」故障中

特に仲ノ沢林道、玄倉林道は落石が多く、その上台風や集中豪雨被害
や地震による林道の崩壊、通行止めが心配されました。

→写真

仲ノ沢林道修理後の様子

豪雨や地震により崩れた斜面が
修理されたばかりです。

仲ノ沢林道が落石もなく驚くほど
きれいでした。



水質調査地点 16、17 へ行くには
玄倉林道入り口ゲート～小川谷出合「立間大橋」ゲート
を通ります。

採水道具を背負い林道を探索しながら歩きました。

- ・玄倉林道入り口ゲート～立間大橋ゲート（徒歩 40 分）
- ・立間大橋ゲート～西丹沢県民の森（徒歩 50 分）

合計 1 時間 30 分の変化に富んだ魅力的なコースです。



残念だったが 16 西丹沢県民の森 水道は故障中でした。修理をお願いしました。

17 仲ノ沢法面湧水は雨天が続いたので比較的水量が豊富であった。

←写真 仲ノ沢法面湧水調査中

玄倉林道ゲート～西丹沢県民の森コース（1 時間 30 分）の見所

- ① 雄大で新鮮な風景
森の緑、爽やかでダイナミックな溪流、白が映える大きな岩石群
- ② 仲ノ沢林道沿いの湧水や小さな滝
- ③ 仲ノ沢林道沿いに目立つ植物や
野鳥の鳴き声、
ヤマツツジ、ハコネウツギ、
ミツマタ等が目につく。



西丹沢県民の森について

大正時代に植林された森なので
別名「大正の森」と呼ばれている。
かながわの美林50選に選出され、
「森林浴の森日本100選」にも選出されている。

↑写真 西丹沢県民の森 ヤマツツジ



県民の皆様
自然の豊かな西丹沢県民の森の空気を吸い
明日への元気の源にしてください。

←写真 西丹沢県民の森 ミツバツツジ

丹沢ボラネット瓦版2022年7月号(通巻112号)7月7日発行
丹沢 大山ボランティアネットワーク世話人会代表 小林 昭五